



さあ、答え合わせをしよう！

第22週目 12/14行ってみよう～石川県（いしかわけん）からの出題

※ココを見てね！▶行ってみよう～石川県（いしかわけん）

1. 大昔の国名でみると、石川県（いしかわけん）は2つの国でした。能登国（のとのくに）と、もう一つはどこ？

正解：②加賀国（かがのくに）

大昔の国名を現在の地域（ちいき）に言い換えれば、丹後国（たんのくに）は京都府北部、石見国（いわみのくに）は島根県西部です。正解は、②加賀国（かがのくに）です。ほかの都道府県（とどうふけん）は何ていうのかな？ WEB サイト「用語じてん」を見て、キミの住んでいる所など、いろいろ確かめてみてね。

2. 加賀三湖（かがさんこ）とは、柴山潟（しばやまがた）・木場潟（きはがた）と、あと一つは？

正解：①今江潟（いまえがた）

正解は、①今江潟（いまえがた）です。干拓（かいたく）されずに遊水池（ゆうすいち）として自然のままの姿を残す「木場潟（きはがた）」、日に7回も水の色を変えるとされ、観光（かんこう）スポットとしても人気を集める「柴山潟（しばやまがた）」、そして、戦後（せんご）の干拓事業（かいたくじぎょう）で埋（う）め立てられた「今江潟（いまえがた）」の3つをあわせて「加賀三湖（かがさんこ）」といいます。ちなみに、河北潟（かほくがた）と赤浦潟（あかうらがた）も、石川県（いしかわけん）の潟湖（がたこ）です。

3. 石川県（いしかわけん）のお宝で、国の重要文化財に指定された木でつくった魚は、何という遺跡（いせき）から出土（しゅつど）しましたか？

正解：①八日市地方遺跡（ようかいちじかたいせき）

正解は「お宝ベスト5」1つ目、①八日市地方遺跡（ようかいちじかたいせき）です。弥生時代中期（やよいじだいちゅうき）の環濠集落（かんごうしゅうらく）がみつかり、人々の生活やものづくり、遠い地域（ちいき）との交流（こうりゅう）、祭りや儀式（ぎしき）に関わるさまざまなものが出土（しゅつど）しています。何かの儀式（ぎしき）に使われたもののようですが、木で魚の形をしたものは他の遺跡（いせき）ではみつかりません。くわしくは、遺跡（いせき）ページも見てみてね。

4. 中屋サワ遺跡（なかやさいせき）から見つかったカゴは、あるものを繰り返し塗（ぬ）って、ていねいに仕上げられています。あるものとは？

正解：②漆（うるし）

正解は「お宝ベスト5」4つ目、②漆（うるし）です。漆（うるし）とは、ウルシの木の幹（みき）から採（と）った樹液（じゅえき）、またはそれを精製（せいせい）したもので、ウルシの木はアジアにしか生育（せいいく）しません。日本列島（れっとう）では、縄文時代（じょうもんじだい）から漆（うるし）を使用したものが見つかり、塗料（とりょう）や接着剤（せっちゃくざい）としての役割（やくわり）だけでなく、素材（そざい）を腐（くさ）りにくく、頑丈（がんじょう）にしてくれるため、毎日使いの食器（しょっき）やお椀（わん）などにも多くもちいられています。石川県（いしかわけん）では美しく価値（かち）の高い工芸品（こうげいひん）・美術品（びじゅつひん）としての漆器（しっき）が、伝統（でんとう）産業となっています。

5. 国の重要文化財に指定されている、真脇遺跡（まわきいせき）から見つかった土器は、何をモデルにしていますか？

正解：③鳥

なんとも可愛い顔をした土器（土器）ですね。正解は、③鳥。「お宝ベスト5」2つ目に紹介されています。何を入れたのでしょうか？ 現代（げんだい）の食卓（しょくたく）なら、サラダボールとしても活躍（かつやく）しそうですね。海に近い真脇遺跡（まわきいせき）からは、イルカの骨（ほね）もみつかり、くわしくは、遺跡（いせき）ページも見てみてね。